YAGI

取扱説明書

水平・垂直偏波用

UHF共同受信用アンテナ

US-LD26VR1(13ch～35ch)
US-MD26VR1(30ch～50ch)
US-HD26VR1(45ch～62ch)

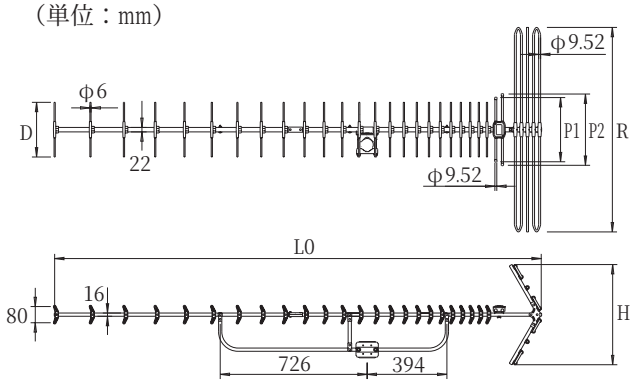
お買いあげいただきありがとうございました。ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後もこの説明書は大切に保存してください。

◆特　長

- 防水形給電部ですから降雨に対して耐久性を持ち長期間安定した映像が受信できます。
- Ｆ形接栓による接続方式ですから特性の経年劣化が少なく安定受信ができます。
- 超多素子集合構造で指向性・前後比、利得とも抜群の性能です。
- ２段パラスタックを１本の角アームにまとめたシンプルな構造は、耐風速・耐候性を充分に考慮して設計されたアンテナです。

◆外観図・標準性能表

（単位：mm）



形　名	L0	D	P1	P2	R	H
US-LD26VR1	2404	270	335	365	1010	493
US-MD26VR1	2404	230	335	365	870	493
US-HD26VR1	2374	200	335	365	730	493

形　名		US-LD26VR1	US-MD26VR1	US-HD26VR1
素　子　数		26	26	26
受信チャンネル	(ch)	13～35	30～50	45～62
受信周波数	(MHz)	470～608	572～698	662～770
出力インピーダンス	(Ω)	75		
動作利得	(dB)	13.7～16.0	14.4～16.2	15.5～17.0
半値角	(度)	±14～±12	±14～±12	±13～±11
前後比	(dB)	22～25	22～25	22～25
VSWR		2.0以下	2.0以下	2.0以下
受風面積	(m²)	0.22	0.20	0.172
寸法 アーム長L	(mm)	2,404	2,404	2,374
寸法 反射素子長R	(mm)	1,110	870	730
寸法 反射アーム長H	(mm)	493	493	493
質　量	(kg)	3.3	3.2	3.1

◆安全上のご注意

- ご使用の前に、この**取扱説明書**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、**取扱説明書**を大切に保存してください。

絵表示について：取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠警　告

- 雷が鳴り出したら、同軸ケーブルやフィーダ等には絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 強風時の作業は安全のために行わないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 高所（家屋の屋根の上・２階の壁面等）、足場の悪い場所への取付けは、落ちたりして、けがの原因となりますので、販売店もしくは工事店におまかせください。
- 感電の原因となりますので電灯線に触れるような所はさけて設置してください。
- アンテナが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがありますのでアンテナの設置には屋根馬、ステーワイヤー等を使ってしっかり建ててください。又アンテナが落ちても安全な所に設置してください。
- アンテナ素子やボルト・ナット等が落ちたりしてけがの原因となることがありますのでボルト・ナット類はしっかりと締付けてください。

⚠注　意

- アンテナや工具を落下させけがの原因となることがありますのでそのような危険のある所では、落下防止のため「ひも」などで固定物と結ぶなどの万全の予防策を行ってから作業を行ってください。
- カッターナイフ等の使用についてはけがの原因となることがありますので、十分にご注意ください。又、同軸ケーブルの加工中など芯線が指等に突き刺さらないようにご注意ください。
- けがの原因となることがありますので、アンテナの組立て、取付け作業中の素子等の突起物には十分に注意してください。

八木アンテナ株式会社

施工説明書

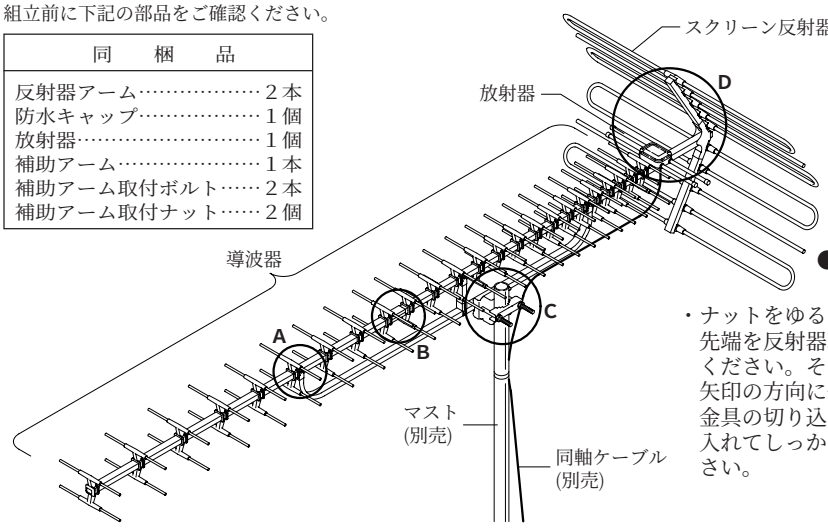
◆アンテナ設置場所の選定

●**設置前の事前調査**……必ず事前に受像テストを行なって全てのチャンネルで画像の良好な設置場所を選んでください。
●**設置場所の選定の目安**……①保守点検が容易な場所を選んでください。
②設置が容易で、美観上のバランスのとれる場所を選んでください。
③高圧線・高架鉄道・高架道路などの雑音発生源を避けてください。
④アマチュア無線などの混信妨害電波、建物によるゴースト妨害のない場所を選んでください。
⑤振動、煙害、ガス等の公害を受けない場所を選んでください。

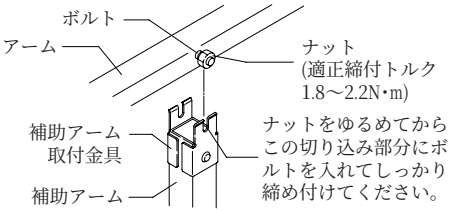
◆組立完成図・部分詳細図

組立前に下記の部品をご確認ください。

同　梱　品
反射器アーム……２本
防水キャップ……１個
放射器……１個
補助アーム……１本
補助アーム取付ボルト……２本
補助アーム取付ナット……２個

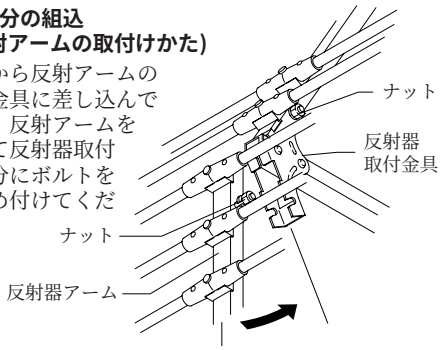


●A部分の組込 (補助アームの取付けかた)

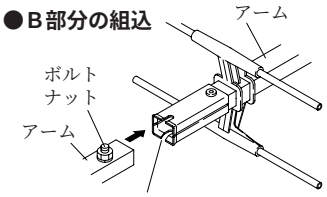


●D部分の組込
(反射アームの取付けかた)

・ナットをゆるめてから反射アームの先端を反射器取付金具に差し込んでください。その後、反射アームを矢印の方向に倒して反射器取付金具の切り込み部分にボルトを入れてしっかり締め付けてください。

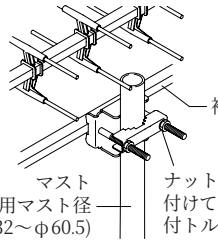


●B部分の組込



ナットをゆるめてからこの切り込み部分にボルトを入れてしっかり締め付けてください。(適正締付トルク1.8～2.2N･m)

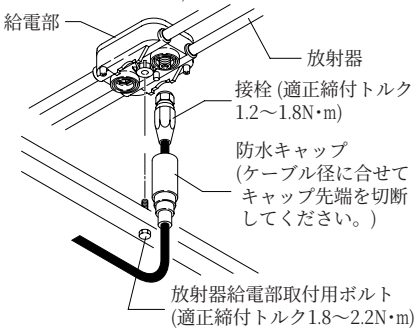
●C部分の組込 (マストの取付けかた)



ナットはしっかりと締め付けてください。(適正締付トルク16.7～17.7N･m)

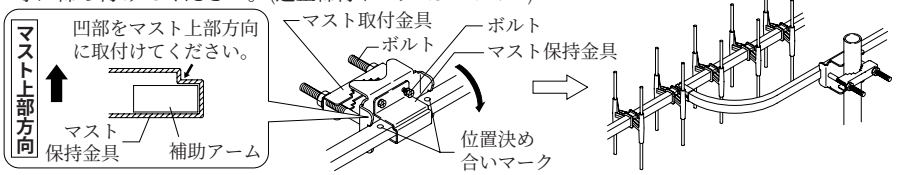
●D部分の組込 (放射器の取付けかた)

・ケーブルにあらかじめ防水キャップを通してから接栓を取付けてください。又、より完全な防水処理の為に自己融着テープ等を用いて巻き付けてください。尚、同軸ケーブルの接続には防水型Ｆ形接栓 (日本電子機械工業会規格C15相当) をご使用ください。



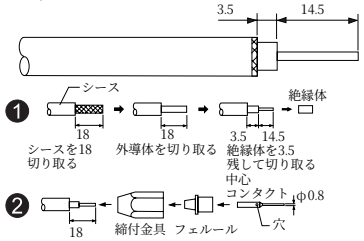
垂直受信時の補助アームの取付けかた

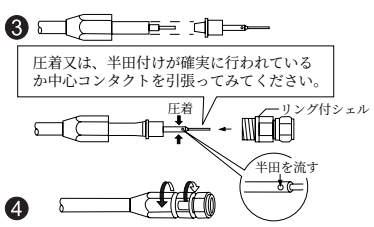
・垂直偏波でご使用の場合はマスト保持金具のボルト４本をはずし、アンテナを90度回転させ、補助アームの２ケ所の合いマーク内側にマスト取付金具がくるようにセットし、ボルトを均等に締め付けてください。(適正締付トルク1.8～2.2N･m)



◆防水型Ｆ形接栓の加工方法 (別売の防水型Ｆ形接栓をお買い求めください。)

●加工をはじめる前にニッパー、専用の圧着工具 (市販品) または半田ゴテ、モンキーレンチ (２本) カッターナイフ、ケーブルをご用意ください。
(ケーブルS5CFBの加工方法例です。)





❶ケーブルをカッターナイフ等にて加工します。

⚠注意

・ケガの原因となることがありますので、カッターナイフ等の使用については十分にご注意ください。また、芯線が指等に突き刺さらないようご注意ください。

❷締付金具をケーブルに通した後、中心コンタクトの穴からケーブルの芯線が見えるまで、フェルールを押し込みます。
❸専用の圧着工具を使い出来るだけフェルールの近くで中心コンタクトを圧着、または、中心コンタクトの穴より半田を流し半田付けし、リング付シェルを押し込みます。
❹モンキーレンチを２本使いリングがかくれるまでしっかり締め付けます。

◆メンテナンス

●いつまでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、１年に１回は専門業者に保守・点検を依頼してください。

●この製品は予告なく、形状及び特性を変更することがあります。

八木アンテナ株式会社
〒337-8502　埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406
http://www.yagi-antenna.co.jp

■ 製品に関するお問い合せ ■
048-687-8198
ご利用時間(土･日･祝日･弊社休業日を除く)
9:00～12:00 13:00～17:00

3GAJ019A0-04.10